

## 尾鷲市農業委員会 令和8年3月定例会 議事録

1. 開催日時：令和8年3月3日（火）午前10時00分から午前10時40分
2. 開催場所：尾鷲市立中央公民館1階視聴覚室
3. 出席委員（7名）

委員	1番 庄司 和稔
	4番 野田 泰史
	5番 黒 次美
	7番 日下 浩辰
	8番 塩津 史子

農地利用最適化推進委員	相賀 康史
農地利用最適化推進委員	濱野 薫久

4. 欠席委員
- |    |           |
|----|-----------|
|    | 2番 北村 都志雄 |
| 会長 | 3番 高村 敦夫  |
|    | 6番 三鬼 早織  |

5. 議事日程
1. その他

### 6. 農業委員会事務局職員

事務局長	芝山 有朋
事務局次長	野田 憲市
事務局書記	川村 星太

## 7. 会議の概要

議長

定刻となりましたので令和8年3月の農業委員会を始めますのでよろしくをお願いします。

本日は〇〇さんと〇〇さん、〇〇さんが欠席となっております。では署名委員さんを指名させていただきます。〇〇番の〇〇さん、〇〇番の〇〇さん、よろしくをお願いします。

それでは事項書に沿って進めさせていただきます。今回の議題はその他です。

事務局

本日の審議案件は無しです。

農地バンクの登録申請があったので、事務局から説明をお願いします。

皆さんお手元の資料をご覧ください。今回1件の登録申請がありました。紀北町島〇〇在住の〇〇さんという方です。農地の所在が尾鷲市〇〇町地番〇〇番〇〇で、地目は〇〇、面積〇〇㎡です。ここは、去年の8月から9月頃に農地法第3条の許可申請で売買が締結した農地ですが、やはり畑はできなかつたということで今回ご相談いただき、農地バンクへの登録となりました。現在は休耕地で、希望する契約形態は売買です。売買金額は売買が成立した場合に買い主と相談するとのこと。2ページに位置図を載せていますが、三木里のインターを降りてまっすぐ進んだところの〇〇の近くです。この赤丸と赤い四角で囲っているところが今回対象の農地になっています。3ページ目に現況写真を載せています。農地の状況としては、2ページの左下に載せていますが、獣害柵が一部施工済みで、水はけは普通、水源は無しです。写真では車が停まっている様子が見られますように、乗り面が舗装されている駐車スペースが少しあります。この方は紀北町在住ですが、現在耕作できる状態ではなく、安くてもいいので手放したいということで、今回農地バンクへの登録申請をいただいています。内容については以上です。

事務局では年に1回農地状況調査をしており、現在その農地状況調査に伴う利用意向のお手紙がどんどん返ってきております。その項目の中に、農地バンク登録希望という選択欄もあるため、農地バンクの登録申請のご要望も何件かいただいております。今回準備ができた1件をまずご紹介さ

せていただきました。

調査方法としましては、遊休農地の協力隊にもお手伝いいただき、現況の写真を撮り、タブレットに取り込み、利用が見受けられない農地に対して、その農地の持ち主の方にお手紙を送り利用状況を確認します。

遊休農地に対してなるべく早めに農地バンクを利用するなどの手筈を取っていただくようにしています。

今回は登録番号21番ということで、21件目ですが、これ以外にも何件か申請がきておりますので、準備ができ次第ご報告いたします。

成約は現在3件です。いろいろな方面にPRして利用の成約を進めていければと思っています。

あと、事務局から何点かご報告です。本日は議会出席のため芝山が欠席となっておりますが、3月ということでこれが今年度最後の定例会となります。この1年色々とイベント等もありまして、ご協力ありがとうございました。

この日曜、3月1日には、農業イベントを熊野古道センターで開催いたしました。昨年は70周年イベントで餅まきがあった為かなりの来場があり、今年は来場者数としては減ってしまったものの、売り上げに関してはかなり伸びております。

今までは農産物の販売のみでしたが、今年は飲食店にも声をかけ、尾鷲の農家さんのものを使ったコラボメニューを出品してもらいました。消費者さんのもとへは、農産物そのものが届く以外にも、調理したものが届くというルートもあります。今年と来年は国からの補助金がありますが、補助金が終わればあまりお金がかけられないということと、尾鷲でも年1回は農業イベントを開催したいという想いもあり、今後もイベントを継続していきたいようにこのようなかたちで開催させていただきました。

また、その前日の土曜日には、有機農業の協議会の天夏農家さんを中心として伊勢神宮に尾鷲の甘夏を奉納してきました。もちろん目的は実りの感謝と、これからの時期本格化する収穫の安全祈願ということで、農家さんたちが甘夏を5キロずつ、全部で30キロ奉納しました。

でも実はもうひとつ目的がありまして、尾鷲には甘夏があつて、今からシーズンが始まるということのPRとして行ってきました。土曜日の伊勢神宮はすごく多くのお客さんが集まっております、ザルに乗せた甘夏を担いでいるとみんな写真を撮っていたり、尾鷲の甘夏に興味を持ってい

ただいたり、良いPRになったのではないかと思います。

できればこの先も、収穫前は伊勢神宮へ甘夏を奉納してPRしてくると  
いう恒例行事となっていけばと思います。

あと、3月1日から甘夏収穫ワーケーションという企画で、外部の方に  
収穫のお手伝いをしてもらっています。生産者と消費者の距離を縮めよう  
ということで、3月、4月に開催し、去年はだいたい150人ぐらい来て  
いただきました。交通費も宿泊費も全部自腹で来ていただいています。

甘夏農家さんの顔や、天満の綺麗な景色の中で育つ甘夏を実際に見ても  
らって、それを食べてもらって、ファンになってもらうというねらいもあ  
り、これからも継続していければと思います。

また、明治安田生命さんや紀北信用金庫さんなども地域貢献というこ  
とで収穫のお手伝いをしてくれておりまして、尾鷲の事業者さんなど市内の  
人も興味を示してくれるようになってきました。こちらも今後も継続でき  
ればと思います。

今年度も色々ご協力ありがとうございました。

また、2月16日に大淀町の農業委員さんが視察に来てくださいまし  
た。日下さんと相賀さんにもご協力いただいて説明させていただきました。  
また今後も来るかもしれないので頑張っていきたいというところで  
す。

皆さん色々注目してこちらへ来ていただいています。昔こちらも  
色々行かれたようで、僕も勉強したいので、そういう意味で視察に行きた  
いと思っています。

そうですね。予算取り検討できればと思います。

それではこれにて、令和8年3月の農業委員会を閉会いたします。あり  
がとうございました。

議長

議事録署名委員

議事録署名委員